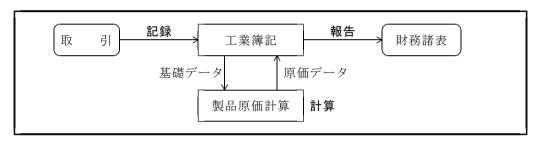
第3節 工業簿記の基礎

1. 工業簿記と製品原価計算の役割

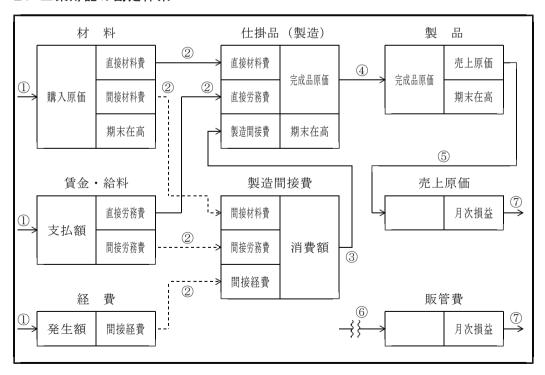
商業経営(商品売買業):商業簿記

工業経営(製 造 業):工業簿記+製品原価計算

工業簿記は、工業経営で、製品原価計算とあわせて利用される。その基本的な目的は商業簿記と同じで、取引を記録し、必要な計算を行い、結果を財務諸表で報告することにある。このうち、記録と報告は工業簿記、計算は製品原価計算により行われる。



2. 工業簿記の勘定体系1)



¹⁾ ここに示す勘定連絡図等は一例であり、勘定組織には様々なバリエーションが考えられるため、問題では指示に従うこと。なお、ここでは直接経費がない場合を前提とする。

(借)	経費a/c の借方に 	×××	(貸)	買掛金等	×××
(借)	賃金・給料	×××	(貸)	現金等	×××
(借)	経 費	$\times \times \times$	(貸)	現金等	$\times \times \times$
資源を <u>注</u>	<u>肖費</u> したとき,集	製造直接費となる	るものは仕掛	品a/c²) へ,製造	造間接費となる
のは一旦,	製造間接費a/c-	へ振り替える³゚。			
(借)	仕 掛 品	×××	(貸)	材料	×××
(借)	製造間接費	$\times \times \times$			
(借)	仕 掛 品	$\times \times \times$	(貸)	賃金・給料	$\times \times \times$
(借)	製造間接費	$\times \times \times$			
(借)	製造間接費	$\times \times \times$	(貸)	経 費	$\times \times \times$
へ振り替え (借)	さる。 仕掛品	×××	(貸)	製造間接費	×××
(借)	仕 掛 品				
(借) 製品が <u>5</u>	仕掛品 <u>宅成</u> したとき,完	E成品原価を計算	し,仕掛品a	/cから製品a/c^	∼振り替える。
(借) 製品が <u>5</u> (借)	仕掛品 <u>宅成</u> したとき,完 製品	E成品原価を計算 ×××	し, 仕掛品 a, (貸)	/cから 製品a /c/ 仕 掛 品	へ振り替える。 ×××
(借) 製品が <u>5</u> (借)	仕掛品 <u>宅成</u> したとき,完 製品	E成品原価を計算	し, 仕掛品 a, (貸)	/cから 製品a /c/ 仕 掛 品	へ振り替える。 ×××
(借) 製品が <u>5</u> (借) 製品を <u>1</u>	仕掛品 <u>宅成</u> したとき,完 製品	E成品原価を計算 ××× E上高を計上する	し, 仕掛品 a, (貸)	/cから 製品a /c/ 仕 掛 品	へ振り替える。 ×××
(借) 製品が <u>5</u> (借) 製品を <u>1</u>	仕掛品 完成したとき、完製品 販売したとき、別	E成品原価を計算 ××× E上高を計上する	し, 仕掛品 a, (貸)	/cから 製品a /c/ 仕 掛 品	へ振り替える。 ×××
(借) 製品が <u>5</u> (借) 製品を <u>月</u> 売上原価 a	仕 掛 品 <u>R成</u> したとき、完 製 品 <u>販売</u> したとき、デ /cへ振り替える 売上原価	E成品原価を計算 ××× 売上高を計上する	し、 仕掛品a (貸) らとともに、意	/cから 製品a /c~ 仕掛品 売上原価を計算 製品	、振り替える。 ××× し、 製品a/c 7 ×××
(借) 製品が <u>5</u> (借) 製品を <u>月</u> 売上原価 a	仕 掛 品 <u>R成</u> したとき、完 製 品 <u>販売</u> したとき、デ /cへ振り替える 売上原価	E成品原価を計算	し、 仕掛品a (貸) らとともに、意	/cから 製品a /c~ 仕掛品 売上原価を計算 製品	、振り替える。 ××× し、 製品a/c 7 ×××
(借) 製品が <u>5</u> (借) 製品を <u>1</u> 売上原価a (借) 販売費者	仕 掛 品 <u>R成</u> したとき、完 製 品 <u>反売</u> したとき、 デ/cへ振り替える 売 上 原 価 および一般管理費 販 管 費	E成品原価を計算	し、仕掛品a (貸) らとともに、う (貸) 算し、販売費 (貸)	/cから製品a/c~ 仕掛品 売上原価を計算 製品 および一般管理 諸 ロ	振り替える。×××し,製品a/cz×××費a/cに集計・×××
(借) 製品が (借) 製品を担 売上原価a (借) 販売費者 (借)	仕 掛 品 <u>R成</u> したとき、完 製 品 <u>反売</u> したとき、 デ/cへ振り替える 売 上 原 価 および一般管理費 販 管 費	E成品原価を計算	し、仕掛品a (貸) らとともに、う (貸) 算し、販売費 (貸)	/cから製品a/c~ 仕掛品 売上原価を計算 製品 および一般管理 諸 ロ	振り替える。×××し,製品a/cz×××費a/cに集計・×××
製品が (借) 製品を 売上原価 a (借) 販売費 [‡]	仕掛品 記成したとき、完製 最上の 大cへ振り替える 売上原価 および一般管理費 販管費 算期間は1ヶ月で	E成品原価を計算	し、仕掛品a (貸) らとともに、う (貸) 算し、販売費 (貸)	/cから製品a/c~ 仕掛品 売上原価を計算 製品 および一般管理 諸 ロ	振り替える。×××し,製品a/cz×××費a/cに集計・×××

^{1) 「}a/c」は,「勘定 (account)」という意味で用いている。

²⁾ 仕掛品a/c (または製造a/c) は、製造原価を集計する勘定である。

³⁾ 振替仕訳については、【**例題1.2】《参考》振替仕訳**を参照のこと。

⁴⁾ 工業簿記では、通常、売上原価は販売の都度、売上原価a/cへ振り替える。